

○アコファイド錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 アコチアミド塩酸塩水和物 Acotiamide Hydrochloride Hydrate 【分類】 機能性ディスペプシア治療剤 [アセチルコリンエステラーゼ阻害剤]

【単位】 ○100mg/錠

【常用量】 1回100mg, 1日3回(食前)

【用法】 食前 [効果の評価は1か月をめやす] ■上部消化管内視鏡検査等により、胃癌等の悪性疾患を含む器質的疾患を除外する必要がある

【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 アセチルコリンエステラーゼ阻害剤でアセチルコリンの作用を増強させ消化管運動を亢進させる FD 治療剤。

【主な副作用・毒性】 下痢, 便秘, 悪心, 嘔吐, 腹痛, 肝機能検査値異常, 白血球増多など

【安全性に関する情報】 4週間の投与により FD に有効で、心血管系副作用を認めず (Matsueda K, et al: Gut 2012 PMID: 22157329) シサプリドのような QT 延長に関与しない (Matsunaga Y, et al: J Pharmacol Exp Ther 2011 PMID: 21123674)

【吸収】 食後投与で AUC が 20%低下 (1)

【F】 13.9~19.0% [ラット], 27.8~50.4% [イヌ] (1)

【tmax】 2.4hr (1) ラットに静注して 2hr 後にアセチルコリンが最大値になる (Yoshii K, et al: Pharm Res 2015 PMID: 26350104)

【代謝】 代謝物として脱イソプロピル体 (M-4), 未変化体のグルクロン酸抱合体 (M-1), 脱イソプロピル体のグルクロン酸抱合体 (M-2) が同定 (1) CYP2C8, 1A1, 3A4 によって脱イソプロピル化され, 抱合反応は主に UGT1A8 及び 1A9 が関与 (1)

【排泄】 尿中回収率 5.3% [po, 216hr まで] (1)

【CL/F】 505L/hr (1)

【t1/2】 8~13hr (1)

【蛋白結合率】 85% [Alb] (1)

【Vd/F】 FD 患者 132L/man, 健康成人 1694±549.5L/man (1)

【MW】 541.06

【透析性】 資料なし (1)

【OW 係数】 8.25 [1-オクタノール/buffer, pH 6.97] (1) 【pKa】 5.63

【相互作用】 抗コリン剤: 作用に拮抗 (1)

【主な臨床報告】 FD に対するレビュー (Sun Y, et al: Expert Opin Drug Metab Toxicol 10: 1161-8, 2014 PMID: 24881488)

ピロリ呼吸試験に影響しない (Mizukami K, et al: J Clin Biochem Nutr 2020 PMID: 33293776)

FD における食道症状の改善の示唆 (Singh N, et al: Life Sci 2020 PMID: 32758626)

【備考】 傷病名: 機能性ディスペプシア。器質的疾患を有する場合には算定できない。よって、器質的疾患を除外する上部消化管内視鏡検査等の実施年月日をレセプト摘要欄に記入する。

【更新日】 20220620

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。